

平成24年度

環境活動レポート



対象期間 : 平成24年7月～平成24年9月

発行年月日 : 平成24年10月1日

信幸プロテック株式会社

目 次

1	挨拶	1
2	環境方針	1
3	事業概要&認証登録範囲	2
4	実施体制	3
5	環境目標	4
6	環境活動計画	5
7	環境目標の実績	6
8	環境活動計画の取組結果とその評価、次年度以降の取組内容	7
9	環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価並びに違反、 訴訟の有無	8
10	代表者による全体評価と見直し結果	8

1 挨拶

弊社は、創業より30余年、地域の産業と日々の暮らしに貢献する設備の総合クリニックとして愛される企業を目指して参りました。5年前には社名を「信幸プロテック株式会社」に変更し、皆様の大切な設備と生活環境を我社の「技術（Technique）」で「守る（Protect）」ことを最大の使命としていきたい、との思いをこめた社名で日々営業をつづけて参りました。

この使命の中には環境に対する責任、業務を通じて果たすべき環境貢献活動も含まれております。今回のエコアクション認証取得に向けての取り組みの中で、この使命の実現に一步一步確実に近づき、社員全員で地域社会に必要とされ環境に貢献する会社となるよう努力を続ける所存です。

代表取締役社長

村松 幸雄

2 環境方針

「私たちの手でかけがえのない地球を守りたい」

《環境理念》

私たちは冷凍設備と産業設備に関わり、エネルギーを取り扱う者の使命として、省エネルギー設備の提案と事業活動のあらゆる分野で環境を守る行動に努め、地域の産業と人々の暮らしの役に立ち、なくてはならない存在となります。

全社員が「私たちは省エネルギー活動で地球を守り続けていきたい！」との信念を掲げ努力と貢献を続けます。

《行動指針》

1. 温暖化ガス排出量の削減と省エネルギー活動の推進

- ・燃費改善に全員で努めます
- ・電力使用量の削減に努めます
- ・高効率機への更新提案で省エネルギー化の促進に努めます

2. 排水量の削減

- ・節水を心がけ最適消費で水資源を有効に使います

3. 廃棄物の削減と循環型社会を目指します

- ・廃棄物の削減、再使用、再生利用を常に考え行動します

4. 事業活動で取り扱うフロンガスおよび臭化リチウムについて、回収の推進を図ると共に適正処理に努めます

5. 事業活動を取り巻く環境関連の法規制を順守します

6. エコアクション21ガイドラインに従って運営し、全社員及び社会に約束し、活動結果を公開します。

- ・常に整理整頓、再資源化・再利用を行い、廃棄物の削減に努めます
- ・社内活動「エコアクション」への社員全員参加を呼びかけ、社内整備・改善に努めます

制定日：平成24年7月1日

信幸プロテック株式会社

代表取締役社長

村松 幸雄

3 組織の概要

1 名称及び代表者名

信幸プロテック株式会社
代表取締役社長 村松 幸雄

2 所在地

本社 岩手県紫波郡矢巾町広宮沢第8地割5番地1

3 環境管理責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者	トータルエンジニアリング 部 課長	小笠原 利章	TEL : 019-697-7200
担当者	経営管理部 課長	村松 直子	TEL : 019-697-7200
		E-mail	info@srs.co.jp

4 事業活動の内容

1. 冷凍、冷蔵、空調設備工事および関連機器の販売と修理業
2. 管工事業
3. 給排水、衛生設備工事および関連機器の販売と修理業
4. 電気工事および電気製品の販売と修理業
5. 自動制御、計装工事および関連機器販売と修理業
6. 省エネルギー装置、工事および関連機器の販売と修理業
7. プラント設備設計、工事および関連機器の販売と修理業
8. 産業排水処理の設計、工事および関連機器の販売と修理業
9. 一般産業廃棄物、特別管理産業廃棄物の収集運搬及び中間処理業
10. 厨房設備工事および関連機器の販売と修理業
11. 住宅設備機器工事および関連機器の販売と修理業
12. 住宅の改増築、建替え及び住宅のリフォーム
13. 土木建築サービス業
14. 古物の機械器具の売買業
15. 前各号に付帯関連する一切の事業

5 事業規模

資本金	10	百万円
製品出荷額（又は、販売額）	3.8	億円
工事件数	120	件
従業員	30	名
延べ床面積	212.5	m ²

6 認証登録範囲

全サイト・全組織・全事業活動が認証登録範囲

7 事業経歴・営業範囲

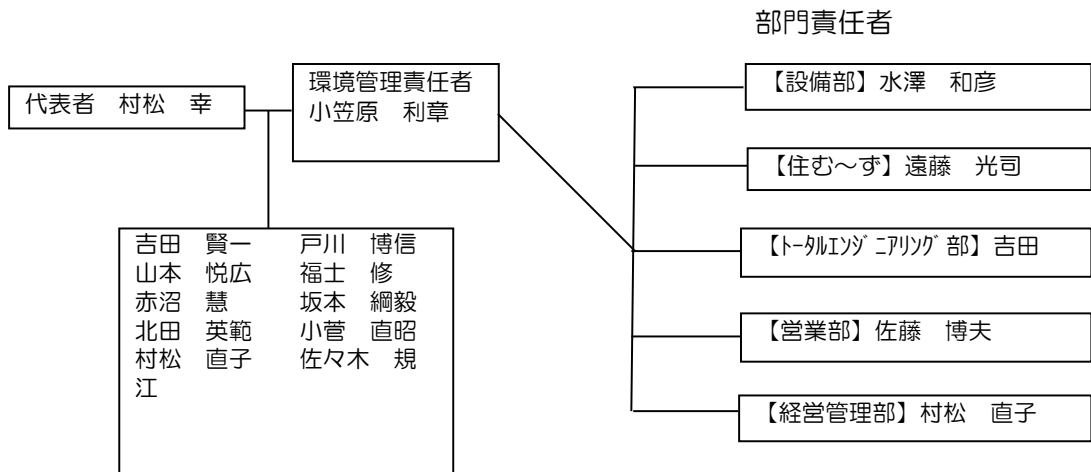
事業経歴

昭和62年 創業（有限会社 信幸冷熱サービス）
平成19年 信幸プロテック 株式会社に社名変更

営業範囲

岩手県内全域

4 実施体制



責任者の役割

代表者 村松 幸雄

- 環境管理責任者の任命
- 環境保全に関する人員、設備、資金の設定
- 環境方針の設定
- エコアクションシステムの見直し

環境管理責任者

- エコアクション21 活動責任者
- 進捗管理

事務局（環境委員会）

- 環境目標、計画の作成
- エコアクション21 活動推進
- データ収集、整理
- システム運用上の事務管理
- レポートの作成、公開

部門責任者

- 環境活動の実施
- 各人員への指示、管理

5 環境目標

取組項目・目標	
①電気 -3% (-35kwh/年)	
★不要な照明を消しましょう	退席時、照明の点けばなし無いか確認
★待機電力カット	退席時電源OFF ※プリンタ・会議室テレビの主電源OFF
★倉庫、工場、ボンベ庫の照明LED化	【環境委員会にて随時交換】
★工場横と裏・ゴミ置き場・車庫のセンサーライトのLED化	【環境委員会にて随時交換】
★エアコンの使用制限	温度設定: 冷房時28℃/暖房時20℃ ★グリーンカーテン・扇風機
★個別照明のセンサーライト化	社長室・トイレ・台所・社員玄関
②水 -1% (-3m³/年)	
★節水を心がける	
★トイレ流量調節	【環境委員会にて取付】
★台所混合栓節水コマ取付	【環境委員会にて取付】
★軍手の洗濯回数を見直し(少量時は回さない)	【フロント】一定量溜ったら洗濯するルール
③燃料 -5% 【ガソリン・軽油・灯油】	
★エコドライブの徹底	★急発進・急停車・アイドリング等しない・高速道路100km以下
★タイヤの交換時期になったらエコタイヤへ	燃費改善に大きく貢献できることが判明
★シーズン用のタイヤを履く(※履きつぶしはNG)	燃費の悪化と事故の原因となる
★タイヤの空気圧チェック	【毎月の車両点検時チェック(流通商事様) + 各自出発時チェック】
★ファンヒーターの活用	全体を暖める必要が無い日中はフロント中心に活用
★天井扇設置	【環境委員会にて取付】
★FF暖房機の使用制限	温度設定: 20℃
★ウォームビス	各自工夫する
④OA用紙(物質投入量) -6%	
★PCFAX(印刷せずPCから直接FAXを送信する)の導入	【フロントにて導入準備中】
★再生紙の活用	★分別の徹底(分別BOX) ★裏紙の有効活用
★請求書ファイリングのペーパ化(紙ファイルの大幅廃止)	【フロント主導で実施中】
⑤廃棄物 -1% 【廃プラ・廃オイル・燃えるゴミ】	
★ムダな購入を無くす	★在庫をよく確認
★資材の有効活用	★残った資材も活用できるように工夫する
★紙のリサイクル	★ゴミ箱にOA用紙を捨てない
⑥CO2排出量 -5%	
★高効率機器への入替を積極的に提案し、省エネ化の促進	
⑦グリーン購入の推進	
★消耗品購入時は、できるだけ「グリーンマーク」表示のある商品を購入する	

CO2排出量
★ガソリン: 1Lあたり「2.3kg」
★灯油: 1Lあたり「2.5kg」
★電気: 1kwあたり「0.37kg」

【中期目標】

取組項目	2011.5.1~2012.4.30 基準年(2011年)	削減目標 2012	目標値 2012年	削減目標 2013	目標値 2013年	削減目標 2014	目標値 2014年	削減目標 2014	目標値 2015年
電力	18,816kwh	-3%	18,252kwh	-3%	18,252kwh	-3%	18,252kwh	-3%	18,252kwh
水	214m ³	-1%	211m ³	-1%	211m ³	-1%	211m ³	-1%	211m ³
燃料		-5%		-5%		-5%		-5%	
<ガソリン>	7,226.9ℓ		6,865.6ℓ		6,865.6ℓ		6,865.6ℓ		6,865.6ℓ
<軽油>	29,120.8ℓ		27,664.8ℓ		27,664.8ℓ		27,664.8ℓ		27,664.8ℓ
<灯油>	4,465ℓ		4,242ℓ		4,242ℓ		4,242ℓ		4,242ℓ
OA用紙 (物質投入量)	0.282t	-6%	0.265t	-6%	0.265t	-6%	0.265t	-6%	0.265t
一般廃棄物	7.24t	-1%	7.17t	-1%	7.17t	-1%	7.17t	-1%	7.17t
産業廃棄物	6.15t	-1%	6.09t	-1%	6.09t	-1%	6.09t	-1%	6.09t
環境配慮商品 販売台数	¥32,878,762	10%up	¥36,166,638	10%up	¥36,166,638	10%up	¥36,166,638	10%up	¥36,166,638

6 環境活動計画・実施状況

当社では、環境方針に基づき二酸化炭素、廃棄物、水使用量を削減し、環境目標を達成するため、従業員が一丸となって省エネルギー、廃棄物の削減・リサイクル及び節水等に取組んでおります。取組の実施状況の評価結果は、表3のとおりです。

表3 主な環境活動計画の内容と取組結果

項目	取組内容	評価	備考	
二酸化炭素排出量の抑制	照明	不要な照明OFF	○	
		工場横と裏・ゴミ置き場・車庫のセンサーライトのLED化	○	
		個別照明のセンサーライト化	○	
	冷暖房	6	○	
		クールビズ・ウォームビズの推進	○	
		グリーンカーテンの設置による遮光・遮熱	○	
		扇風機の活用	○	
	節電	スイッチ付OAタップによる待機電力カット	○	
		OA機器の主電源OFF	△	プリンタ・コピー機等
	車両その他	エコドライブの徹底	○	
		タイヤの交換時期にエコタイヤに交換。時期に合ったタイヤを使用	○	
		タイヤの空気圧チェック	○	
廃棄物の排出抑制	一般廃棄物	購入前に必要性和廃棄方法の再確認	△	
		端材等資材の有効活用	△	
		OA用紙のリサイクル、裏紙の活用	○	
	産業廃棄物	購入前に必要性和廃棄方法の再確認	△	
		端材等資材の有効活用	△	
		分別を徹底する	○	
節水・排水	用水・排水	トイレ流量調節	○	
		台所混合栓節水コマ取付	○	
		洗濯回数の見直し（少量時は回さない）	○	
グリーン購入	消耗品購入時「グリーンマーク」表示のある商品を購入する	○		
製品・サービスに関する取組	高効率機器への入替を積極的に提案し、省エネ化の促進	○		

7 環境目標の実績

当社では、環境目標の達成状況の確認・評価を行いました。

今回は、エコアクション21を開始した平成24年7月から9月までの実績についての評価結果を報告いたします。

- ・電力の使用量が猛暑の為、エアコンの使用が例年になく増加した。健康面・業務効率の面から止む追えないと評価している。
- ・石燃料の使用量増は受注増の影響であり、当社での二酸化炭素排出量は増加したが、お客様の二酸化炭素排出量削減には貢献していると評価している。尚、当社自身の削減も今後強力に推進する。

表4 当該年度の環境目標の達成状況等

項目	単位	基準年 実績値	当該年度			環境目標の 達成状況
			削減(増加)	目標値	実績値	
1、電力の二酸化炭素	kg-CO ₂	1,513	3%削減	1,467	1,583	未達成
2、燃料の二酸化炭素	kg-CO ₂	22,415	5%削減	21,293	23,878	未達成
3、二酸化炭素合計	kg-CO ₂	23,928	—	22,760	25,461	
4、一般廃棄物	t	1.58	1%削減	1.56	1.89	未達成
5、産業廃棄物	t	1.7	1%削減	1.683	0.69	達成
6、総排水量(節水)	m ³	45	1%削減	45	43	達成
7、環境配慮製品・商品の製造・販売	万円	423	10%増加	464	3,574	達成

注：購入電力の二酸化炭素排出係数は環境省報道発表（H24/1）の東北電力実排出係数 0.429kg-CO₂/Kwを使用

環境活動の状況



環境委員会でのエコアクション活動内容会議



グリーンカーテン実施状況
(社員による植付け作業)



グリーンカーテン実施状況(遮光状況)



岩手大学環境人材育成プログラムでの
環境レポート作成風景

8 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度以降の取組内容

1. 取組結果の評価

表5 主な環境活動計画の内容と取組結果

項目		実施状況の評価	備考
二酸化炭素排出量の抑制	照明	△節電に対する意識は取組前から強く、成果が出	猛暑で空調の使用が増えた。目標達成より体調を優先で実施。 効果が少ないのは、昨年までの取組みで、ほぼ限界値に近づいているためと評価する。
		にくい中センサーライトの設置、倉庫のLED化が	
		効果を発揮した。	
	冷暖房	△気温30℃以上の酷暑が9月まで続いたため、	
		エアコン使用日数は昨年を上回った。	
	節電	△クールビズなど昨年より継続して取り組んだ	
		ものが多い中で、トイレ等のセンサーライト・倉庫LED化が効果を上げた	
	車輛その他	×体調最優先にしつつエコドライブの呼びかけ	
を行い、エコドライブ運転の優良者への表彰を行った。			
排出物抑制の	一般廃棄物	×社員数が5名増加し、廃棄物の量は一貫して増加傾向。業務量も増えている条件下としてはコントロールできた。目標値と活動内容の見直しが必要	業務増の影響。
	産業廃棄物	○金属くずのリサイクルと分別ができてきている	
排水・節水	用水・排水	○当たり前になっていた習慣を見直したことで	洗濯機の使用頻度を変えた効果が出たと評価する。
		節水ができ目標も達成できてよかった。	
グリーン購入		△事務用品の購入時は意識している。サービスマンに購入意識が浸透していない。	
製品・サービスに関する取組（環境配慮型製品・商品の販売）		○ 暑い日が続いた外的要因と営業部の働きかけで効率の良いエアコンの販売台数が増加した。	

○：評価できる、△：ますます評価できる、×：評価できない

2. 次年度の取組内容

(1) 二酸化炭素排出量の削減

冷暖房はクールビズ、ウォームビズ、グリーンカーテン、扇風機等気流の活用を継続しつつ労働意欲と体調に支障をきたさない範囲で活動を継続。

(2) 廃棄物の排出削減

リサイクル活動はほぼ定着し、運用されているので、今後は廃棄物総量の減量のため社員啓発を行い、必要最低限の購入や端材の再利用、購入方法の見直しを検討する。

(3) 節水（排水対策）

節水コマ、水量調整が成果を上げているので、活用を続ける。

(4) グリーン購入

事務所だけでなく、現場資材の購入の際も意識する。お客様への案内や意識啓発方法を検討。

(5) 製品・サービスに関する取組

環境配慮製品の販売促進を継続。

(6) その他の取組

9 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価並びに違反、訴訟等の有無

当社が法的義務を受けるフロン回収破壊法など、環境関連法規について遵守状況をチェックしたところ違反はありませんでした。

また、過去3年間、関係当局からの違反等の指摘、住民等からの苦情、訴訟等について、問題が有りませんでした。

10 代表者による全体評価と見直しの結果

見直し項目	評価	改善及び指示
1環境方針	毎年省エネ・節電を意識して施策を講じていたため、方針決定や社内コンセンサスを得る過程がスムーズであった。	特になし。
2環境目標	社内に目標と活動内容をよく周知した。気候と繁忙による影響を受けるのは不可避であるので、期間内の目標達成にとらわれず、年間で目標達成できるよう無理なく進めてほしい。	環境配慮品の販売促進については、社会情勢から見てももう少し高い目標設定が可能であった。下半期に向け目標を再検討してみること。
3環境活動計画及び環境経営システム	節電、節水についての取組が大きな効果を上げていた。毎日、全員が使うものに焦点を当てたことを高く評価する。	一般廃棄物量の削減、OA用紙の使用量は更に削減が可能だと思うので、下半期集中的に取り組めるよう活動計画案を作成すること。
4その他	社会貢献活動や周辺環境美化への取組が見られなかった。	下半期は周辺清掃やイベント活動なども計画に盛り込んで欲しい。
5全体評価	<p>営業結果と社会の要請の相乗効果で環境配慮製品の販売促進に目覚ましい結果が見られた。目標設定を見直した上で来年も強力で推進してほしい。電力・ガソリン・灯油・廃棄物などについては昨年も準備期間と捉えて取り組んでいたため、目標通りに結果が出せなかった項目についても社員全員に活動内容が良く浸透しており、積極的に取り組む姿勢が見られた。濡れた雑巾に見えてもまだ「少しずつ、毎日、全員」で取り組むことで成果が出ると思うので、活動内容の設定を柔軟に変更しながらすすめてもらいたい。</p>	